

未来へつなぐ愛・夢・安らぎ

～令和5年度 施政方針～



南風原町長 赤嶺 正之

令和5年第1回南風原町議会定例会の開会にあたり、予算案をはじめとする各議案の説明に先立ちまして、私の町政運営に対する所信を申し述べ、町民皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに

令和2年2月に沖縄県内初の新型コロナウイルス感染症が報告されてから3年が過ぎ、国は新型コロナウイルスの感染症上の位置づけを、令和5年5月から季節性インフルエンザと同等の5類に見直すことが決定されました。しかしながら、コロナ禍以外にも原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等の影響により、町民生活及び地域経済の完全回復には至っていない状況となっております。

このような中、引き続き町民生活及び地域経済の回復と活性化に向けて取り組んでいきたいと考えております。また、第三次財政健全化計画においては、議員をはじめ町民皆様のご理解・ご協力によ

り、計画期間内に国民健康保険特別会計の累積赤字を解消し、財政調整基金も目標額以上に確保することができました。改めて議員、町民皆様に感謝申し上げます。今後も持続可能な財政基盤の確立に努めつつ、重要な政策課題には必要な予算措置を講じるなど、メリハリの利いた町政運営に努めてまいります。

次に、私は令和4年5月から2期目の町政運営の舵取りを町民から負託されました。引き続き未来へつなぐ「愛・夢・安らぎ」をスローガンに、町民皆様と約束した7つの政策を達成すべく誠心誠意職務にあたっております。

具体的には、南風原南インターチェンジ周辺をはじめめとする、将来のための土地利用の見直しや、町民体育館の建設を推進します。また、これまで進めてきた平和・教育・文化・福祉・子育て支援等についても町民皆様の声を聞きながらス

ピード感を持って対応したいと考えております。今後も南風原町に「住みたい」「住んで良かった」「ずっと住み続けたい」、そう思っていただけのような魅力あるまちづくりに取り組めます。

それでは、令和5年度に実施する施策について、その骨子を申し述べます。

ともにつくる黄金南風の平和郷について

令和4年10月に「第五次南風原町総合計画後期基本計画」が策定されました。策定においては、コロナ禍にも関わらず参加して頂いた住民会議の皆様、審議会委員の皆様に感謝申し上げます。引き続き総合計画の将来像である「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現に向け諸施策を展開します。

その基本理念の「平和」、「自立」、「共生」については、町民平和の日を中心に、「平

みんなで考え、みんなで創るわくわくするまちについて

和」の尊さを願う町民の心を、国内はもとより世界へ向けて発信する平和なまちづくりに取り組むとともに、新たな時代の中で、「自立」した多様な人々が育ち集う、地域力のあるまちづくり、そして自然との調和、人と人のつながりを大切にしたい。「共生」のまちづくりを目指します。

行政情報を積極的に発信し、誰もが情報を共有できるよう広報誌やホームページ、SNS等を活用し、迅速に分かりやすく伝える広報活動に努めます。また、多様化する町民ニーズや、時代の変化をいち早く町民皆様と共有するため、まちメーや町政提案箱、行政懇談会の他、SNS等の活用により、情報の収集・発信を行います。更に、各種委員会への公募委員の登用、パブ

リックコメント制度の活用により、町民皆様のご意見が町政に反映されるよう取り組みます。

きょうからと輝く人が育つまちについて

家庭教育、ふるさと教育、学校教育を通じて、自ら考え、決め、行動できる人づくり、そして人をつなげることでより大きな力が発揮できるように、人と人のつながりを育む環境づくりを、家庭と学校、地域が一丸となって取り組みます。

学校教育では、これまで取り組んできた児童・生徒の基礎学力の定着と併せて、全ての教科の基礎となる「読解力」の強化に取り組む「確かな学力」向上を図ります。

また、町内小中学校のICT環境を活用し、魅力ある授業づくりや子ども達の「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組めます。教師の指導力を強化するため、指導主事2人制を引き続き実施します。更に子ども達

一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて、医療的ケアが必要な児童生徒が安心して学校生活を送れるよう「医療的ケア看護職員」の配置を行います。

小中学校を取り巻く現状と人口増による課題を把握するとともに、今後のより良い教育環境と質の更なる充実を目的とした、「町立学校適正規模計画」の策定に取り組めます。

幼稚園教育、保育の充実については、保育の必要性と幼児教育の重要性を認識したうえで「南風原町立幼稚園の今後のあり方について」の方針に基づき、教育・保育を一体的に提供できるように「認定こども園」への移行に向けて具体的に組み込まれます。

学校給食については、児童生徒の増に対応するため、老朽化した学校共同調理場の再整備や、今後のあり方の検討を進めるとともに、安全・安心な給食を提供し、

健康づくりに努め、食育の推進と給食費の収納確保に努めます。

教育施設については、北丘小学校体育館の改築工事やプール改修の整備を令和5年度の完成に向け、引き続き行います。また、計画的に小中学校体育館のLED照明への切り替えを行い、環境改善と温室効果ガスの削減やコスト削減に取り組むとともに、更なる快適な教育環境の充実に努めます。

生涯学習を推進するため、中央公民館や文化センターを文化活動や学習活動の拠点として、多くの町民の学び・体験・交流ができる機会を拡充を図ります。また、魅力ある図書館を目指し、電子図書や地域資料等の整備充実、地域と学校が連携・協働できるよう地域学校協働本部(学校応援隊はえばる等)の活用を図ります。

平和学習・交流・観光関連事業の推進については、沖縄陸軍病院南風原壕群の活用、「子ども平和学習交流

ちむぐくるとともに つくる福祉と健康のまちについて

新型コロナウイルスの派遣、事業」による小学生の派遣、「青少年の国際交流」による中学生のハワイ州への派遣を実施します。また、民俗芸能交流会を開催し各地域の文化交流を図ります。

走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠出産時の経済的支援に取り組んでまいります。また、地域子育て支援拠点を新たに一カ所開設するとともに、子育て世帯を包括的に支援する「子ども家庭センター」設置に向け取り組みます。

新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き基本的な感染症予防対策を推進し、町民の安心につながるよう万全の体制で取り組んでまいります。

待機児童の解消については、町内保育所等に就職した保育士へ10万円を給付する就職一時金を継続し、保育士確保に努めます。

子ども・子育て支援については、本町独自で実施している、高校卒業年齢までの子ども医療費助成の現物給付の継続、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴

子どもの貧困対策等については、子育て家庭が社会的に孤立することのないよう、居場所の設置や若年妊産婦の支援を継続します。障がい者(児)・高齢者支援については、「第6次南風原町計画」第3期障がい児福祉計画、「第10次南風原町高齢者保健福祉計画」を策定し、更なる福祉サービスの充実を図ります。また、権利擁護支援を含む相談支援体制の強化を図るための、成年後見制度にか